

往復経路

事例
1

訓練に出動し、部署位置の指示を受けるために集結する移動途上、ポンプ車後部ステップに乗車していた際、林道駐車場入口でポンプ車が急な減速をしたため路上の段差で揺れ、足を滑らせステップから転落した。

結果

左脇腹打撲

対策

一切の例外を許さない厳しい姿勢でステップ乗車を禁止する。

往復経路

事例
2

小型ポンプ付積載車でサイレンを鳴らしながら火災現場に向かう途上、交差点で、一般車両が交差点に進入してきて接触しそうになりヒヤリとした。

結果

負傷者なし

対策

優先走行を過信せず、交差点に進入する場合には必ず一時停止をし、安全を確認した後に呼称を励行して徐行しながら通過する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ
操作
法

警戒・広報

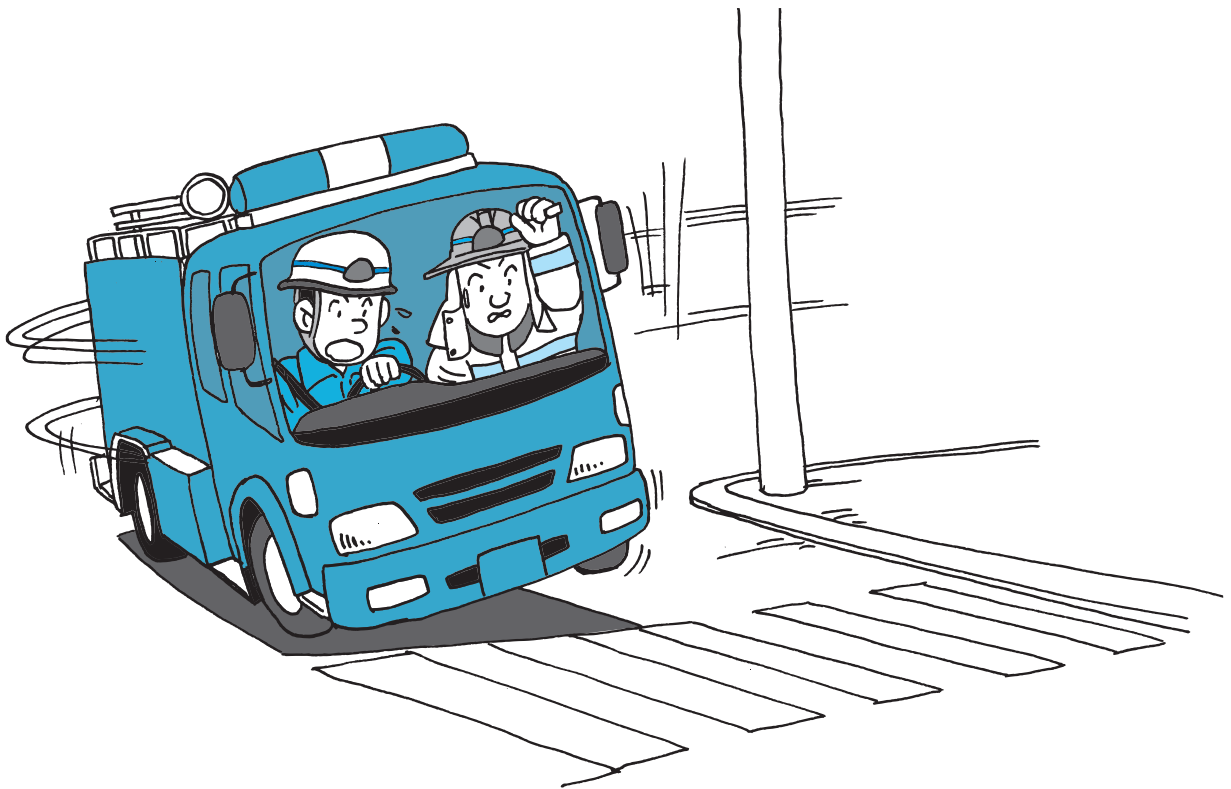
往復経路

点検整備・
その他

往復経路

事例
3

火災現場に向かう途上、機関員としてポンプ車のサイレンを吹鳴し交差点を左折しようとした際、スピードが思った以上に出ていたため、片輪が持ち上がり横転しそうになった。



結果

負傷者なし

 対策

日常から運転する車両の特性(タンクを積載している場合の運行方法等)を習熟させる。

道路交通状況に応じて適正な速度で走行する。

指揮者から「スピード落とせ」と強く指示する。

往復経路

事例
4

火災現場へ向かう途上、消防自動車の後部ステップに乗っていた際、消防自動車から筒先が落下し、それを取ろうとして消防自動車から路上に転落した。

結果

負傷者なし

対策

一切の例外を許さない厳しい姿勢でステップ乗車を禁止する。
日常における点検や帰所後の点検整備を徹底して行う気風を醸成する。
点検時に指差し呼称を実施する。

往復経路

事例
5

詰所から火災現場へ向かう途上、ポンプ車の機関員として緊急走行していた際、前方を2台の一般車両が走行しており、先を走る1台が左に避けたので目の前の車両も避けるだろうと思い追い越しにかかった時、その車両も避けた車両を追い越したため、接触事故を起こしそうになった。

結果

負傷者なし

対策

緊急出動時には、運転者だけでなく同乗者全員が周囲の安全を確認して事故防止に当たる。

運転者は、右左折や進路変更をする際に、事前に余裕をもって同乗者に知らせ、同乗者は安全確認の補完に当たる。

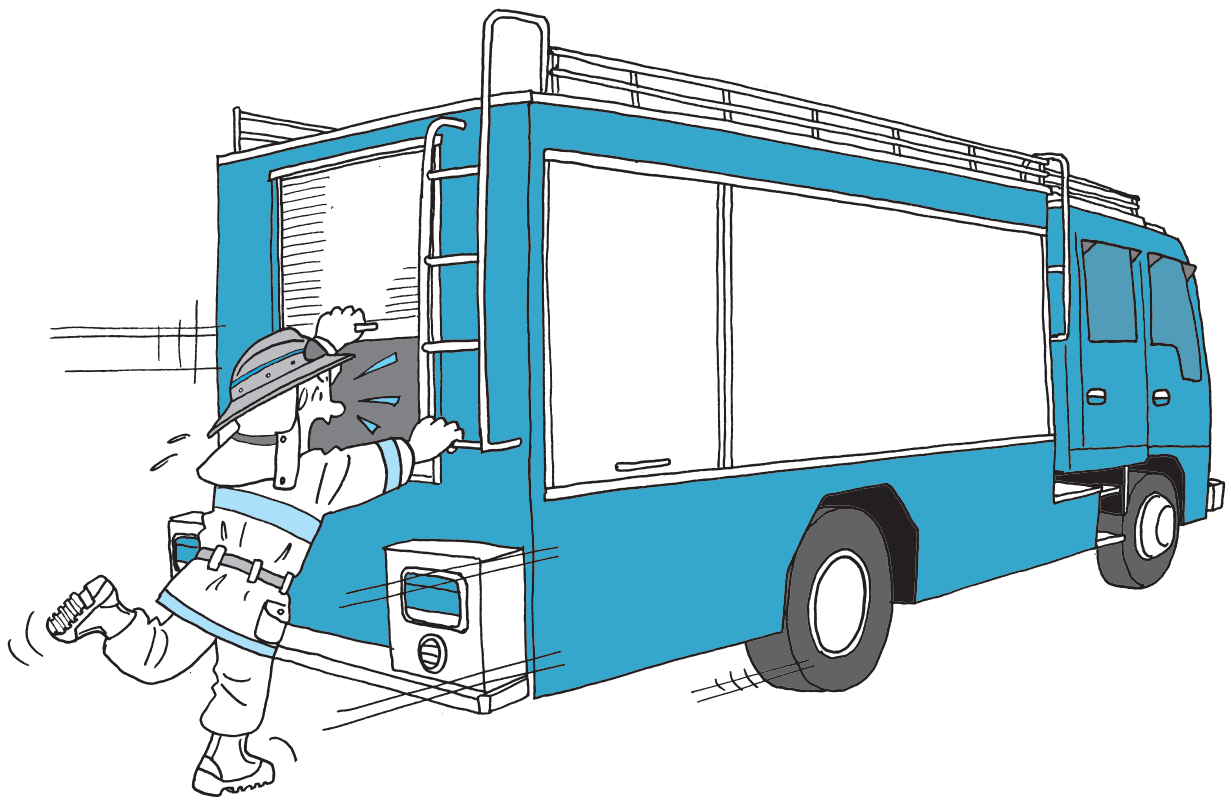
車載拡声器を活用し、一般車両等に消防車の接近、進行方向等を周知し、早めの避譲と注意を喚起する。

「だろー運転」禁止を励行させる。

往復経路

事例
6

火災現場に出動する際、消防車両の後方の扉が完全に閉まっていなかったため、機関員に自分が後方にいることを知らせていなかったため、消防車両が発進してしまい、結果として車両の後部につかまりながら現場へ向かうことになってしまった。



結果

負傷者なし

 対策

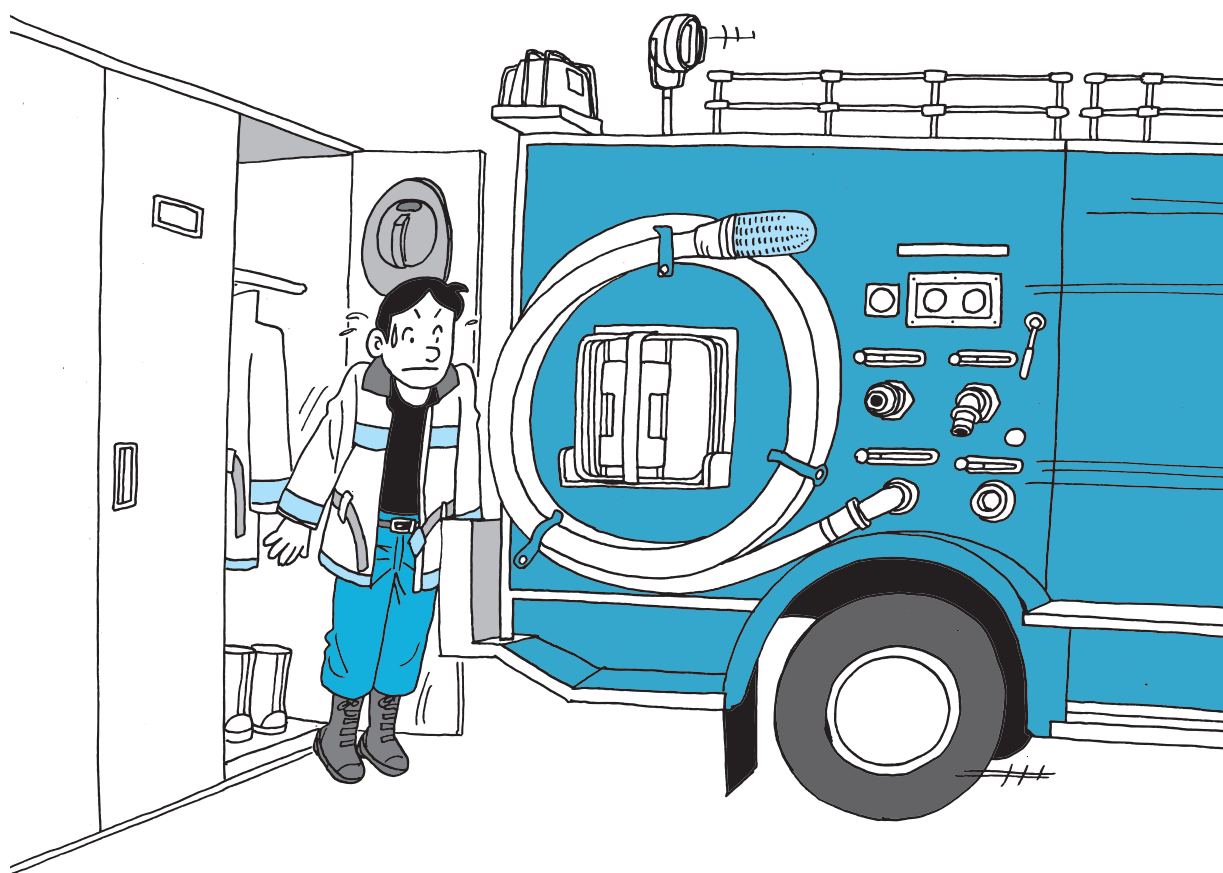
運転者は運転席に着席した後は、車両の前方左右の状況をミラー等で確認する。

指揮者は冷静に団員の安全乗車、車両周囲の状況を確認し、最後に乗車し発進の合図を行う。

往復経路

事例
7

出火報を受け詰所に参集し、車庫内の後方にあるロッカー前で防火衣を装着していた際、機関員がポンプ車のギアがバックに入っていることに気づかず、クラッチを踏まずにエンジンを始動したため、ポンプ車が後退し、防火衣を装着していた団員がポンプ車とロッカーにはさまれそうになった。



結果

負傷者なし

対策

エンジン始動時は必ず運転席に着座し、車両状況（サイドブレーキ、チェンジギアの状況、各種メーターの状況）を確認してから徐々に発進する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備・その他

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備・その他

往復経路

事例 8

災害発生を知らせるサイレンが吹鳴されたため、急いで出動しようと自宅の2階から階段を降りる際、足を踏み外し転倒した。



結果

頭部打撲

対策

サイレン吹鳴に惑わされることなく、心に余裕をもって冷静に行動を開始する。

出口にむけ階段を降りるときは、踏み外しに注意する。

往復経路

事例
9

市内の工場の自火報発報（集中豪雨による誤報）によりポンプ車で現場に出動し、調査後の帰路で、集中豪雨により低い土地にある道路が冠水しており、水溜りにポンプ車のはまり、エンジン故障で立ち往生してしまった。

結果

負傷者なし

対策

自己の管轄区域内の地水利の状況が天候によりどのように変化するか等、常日頃の管内状況の実態把握を徹底する。

往復経路

事例
10

建物火災に出動する際、詰所前の路上で後部座席の団員が座席に座らず立ち乗りしていたため、ポンプ車から振り落とされて転落した。

結果

腰部打撲

対策

着座乗車を徹底する。

指揮者による団員の乗車状況確認を徹底し、運転者は指揮者の「発進ヨシ！」の呼称により発車する。

定員外乗車を禁止する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

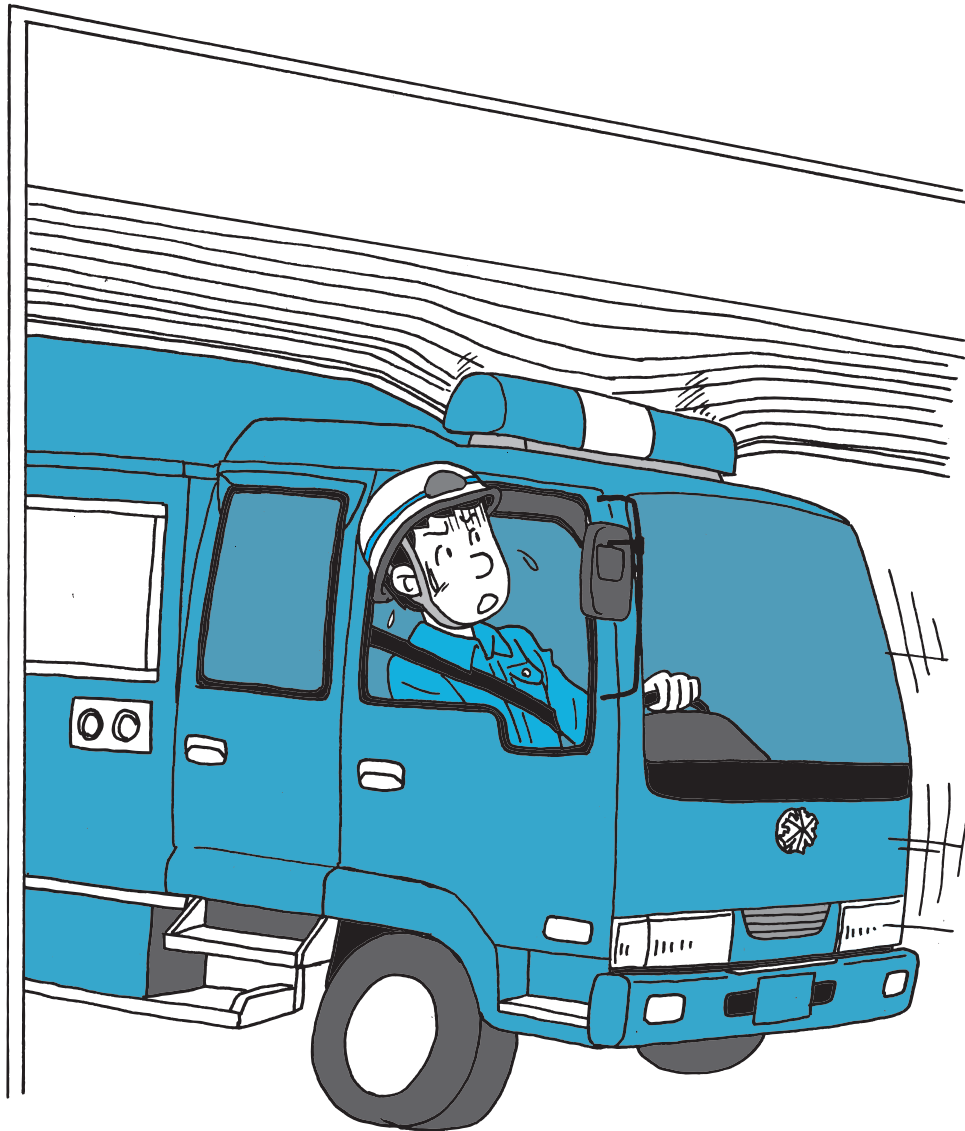
往復経路

点検整備・その他

往復経路

事例
11

放水訓練に向かうため、詰所の車庫からポンプ車を出そうとした際、シャッターが完全に上がっていなかったため、ポンプ車の回転灯がシャッターに接触し、それに気づいた運転手が車両をバックさせたため更にシャッターが内側に変形した。



結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

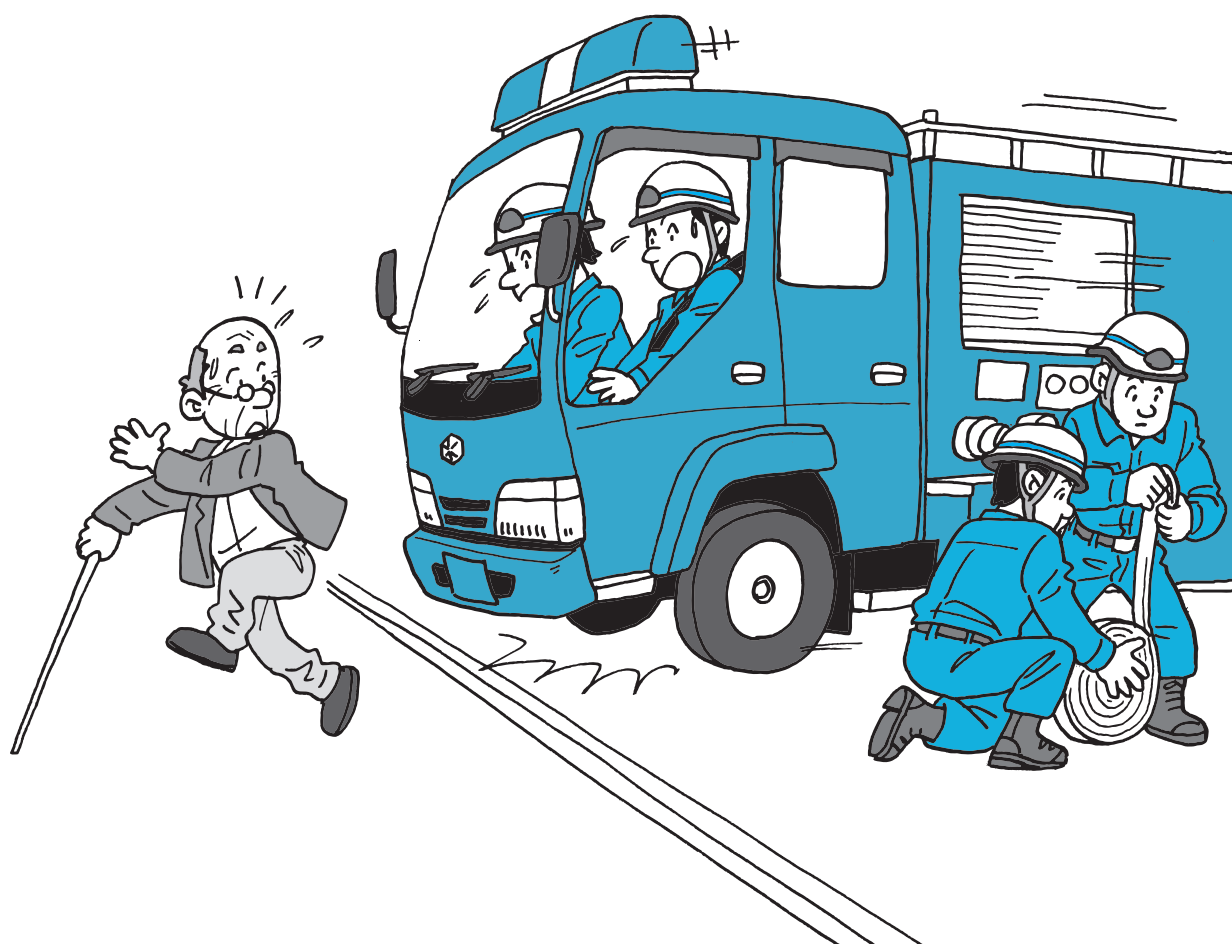
指揮者、運転者はもちろん、乗車員全員で建物、周囲の状況や安全を確認することを教育する。

シャッターを開放する者は完全に解放した事を指差し呼称で確認することを励行する。

往復経路

事例
12

訓練に出動するため、詰所の車庫から可搬ポンプ積載車を出そうとした際、各分団員は訓練に使用する資器材の準備に夢中になり、誘導員を配置していなかったため、通行人と危うく接触しそうになった。



結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

運転者をはじめ、乗車員全員で建物、周囲の状況や安全の指差し呼称、確認呼称を行う。

誘導員を配置する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備・その他

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操法

警戒・広報

往復経路

往復経路

事例
13

操法訓練に出動するため、詰所の車庫からポンプ車を運転し、道路に出ようとした際、誘導員もなく、出入口のシャッターを最上部まで上げない状態だったため、シャッターとポンプ車の上部が接触した。

結果

負傷者なし



対策

建物や周囲の状況の安全を確認して発車することを教育する。
誘導員を配置する。

往復経路

事例
14

ポンプ車を車庫に入れる際、運転手と誘導員が車両後方を十分に確認しておらず、シャッターが全開していないことに気づかず車両をバックで誘導したため、車両上部に取り付けてある投光器がシャッターに接触し、シャッターと投光器が破損した。

結果

負傷者なし



対策

誘導員を配置し、運転者と連携をとり、車両と周囲の状況の安全確認を行う。
指揮者は下車し、誘導員とともに運転者に指示をする。

往復経路

事例
15

火災現場に出動するため、詰所の車庫から消防車両を出庫する際、シャッターの開きが不十分であることに機関員が気づかず出庫しようとしたので、それに気づいた他の団員がシャッターを開放しことなきを得た。

結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

緊急出動時には、運転者、指揮者のみに任せず、乗車員全員で安全確認をする。

往復経路

事例
16

火災現場に出動するため、機関員として消防車両による緊急走行をしていた際、交差点に進入し右折のためハンドルを切った時、久しぶりの消防車両の運転で十分な減速を怠ったため、横転しそうになった。

結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

緊急出動時には、運転者の心理状態が正常でなくなりがちであるため、定期的な操縦訓練を通して車両の性能を熟知させる。
交差点を通過する場合は、必ず一旦停止する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備・その他

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

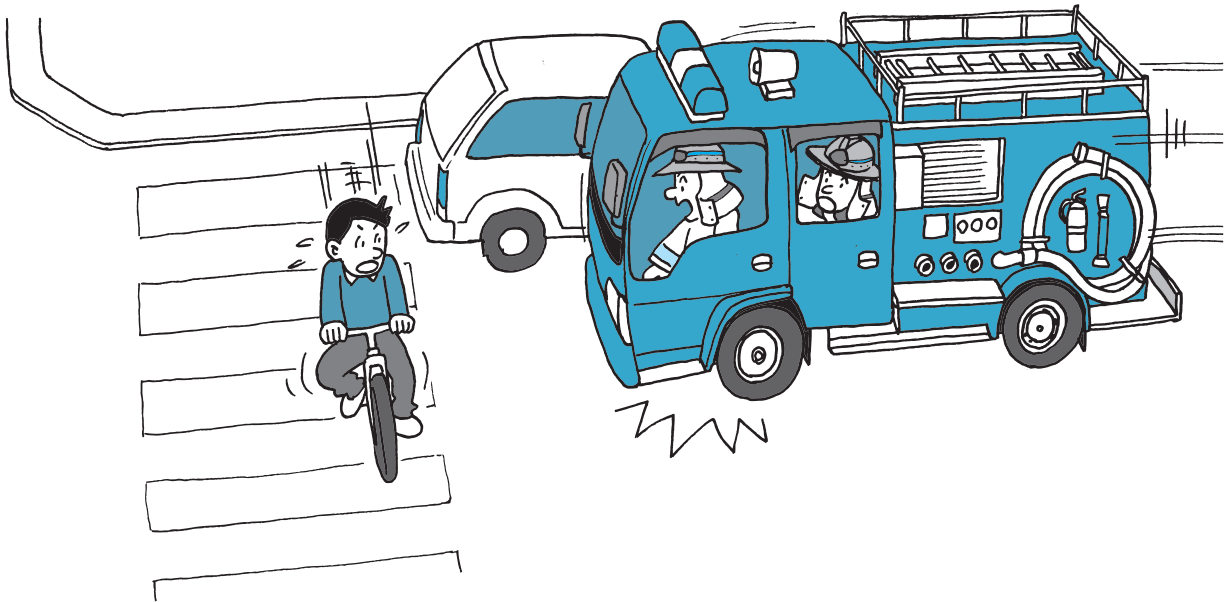
警戒・広報

往復経路

往復経路

事例
17

火災現場に出動する際、消防車両が交差点（信号あり）に差し掛かり、避讓を呼びかけ安全を確認して交差点を渡ろうとしたとき、対向車線側に駐車していた車両の後ろから自転車が直進してきたため急ブレーキを踏んで事故を回避した。



結果

負傷者なし

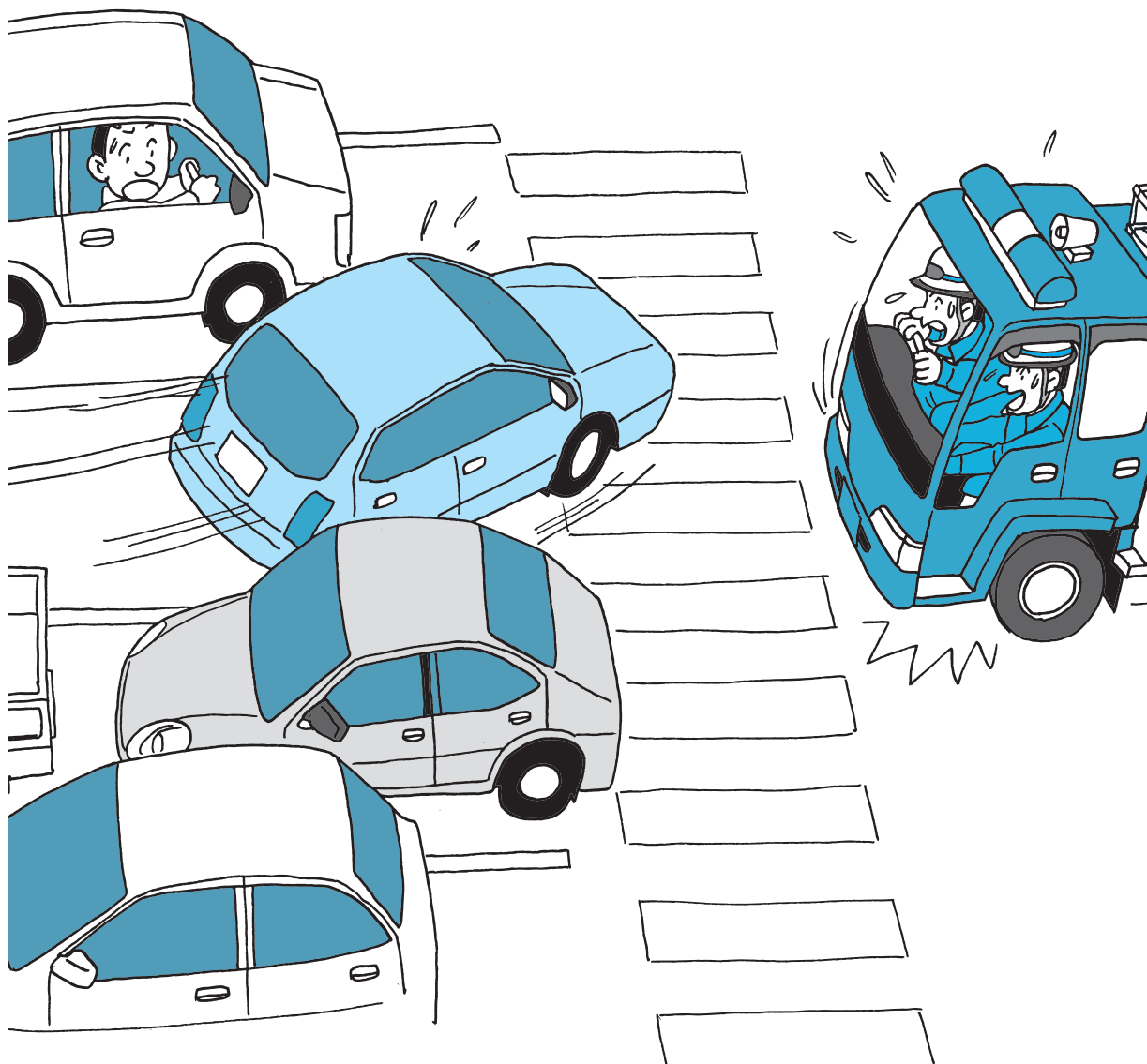
対策

緊急走行時に交差点にさしかかった時は、必ず一旦停止し乗車員全員で前後左右の安全を確認し、指差し呼称を行い、徐行しながら通過する。指揮者は運転者へ減速の指示を厳格に行うことを徹底する。

往復経路

事例
18

災害現場に出動するため、消防車両で緊急走行をしていた際、片側2車線の信号のある交差点で赤信号を通過しようとした際、対向車線の走行車線にいた一般車両が停車してくれたため前進したところ、追い越し車線を走ってきた一般車両と衝突しそうになった。



結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

緊急走行時の交差点の赤信号では一旦停止が原則である。前後左右の安全を確認しながら一般車両の接近に注意し、沈着冷静な行動をとり安全を確保する。

指揮者は運転者への一旦停止の指示を厳格に行う。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備・その他

往復経路

事例
19

災害現場に出動するため、消防車両で緊急走行をしていた際、赤信号であったため交差点前で一旦停止し、左右を確認し交差点に進入したところ、確認時に十分な距離がある
と判断した右側から走行して来た車両と衝突しそうになった。

結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

緊急走行時の交差点の赤信号では一旦停止が原則である。前後左右の安全を確認しながら一般車両の接近に注意し、沈着冷静な行動をとり安全を確保する。

指揮者は運転者への一旦停止の指示を徹底する。

往復経路

事例
20

火災現場に出動するため、消防車両で緊急走行をしていた際、見通しの悪い信号機のある交差点に進入したところ、横方向の車線から交差点に進入した一般車両が、スピードを落とさず目の前を通過した。

結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

緊急出動中であっても、交差点では必ず一旦停止して、一般車両の進入があった場合には、その車両を通過させてから安全を確認して通過する。

往復経路

事例
21

建物火災現場に出動するため、詰所から消防車両を発進させた際、周囲の確認不足のため、通行中の歩行者と接触しそうになった。

結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

出動の際、指揮者は車庫前で、必ず誘導した後に乗車する。

往復経路

事例
22

建物火災に出動するため消防車両で道路を走行中、赤信号の交差点を通過しようとした際、一旦停止をしなかったため、青信号で交差点に進入した一般車両と接触しそうになった。

結果

負傷者なし

▶▶▶ 対策

交差点進入時は、必ず一旦停車し、徐行して交差点を通過する。
優先通行を過信しない。
他の車両の動きを乗員全員で注意する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備・その他

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

往復経路

事例
23

建物火災に出動し、鎮火後詰所へ帰るため消防車両で県道を走行中、ゆるやかな右カーブで路面の凹凸による振動のため、収納固定が不完全であった筒先が対向車線に落下した。

結果

負傷者なし

対策

現場引き揚げ等、車両運行前には、全員で車両及び積載器具の指差し呼称しながらの点検、確認を行う。

積載器具の止め金のゆるみ等がないか定期的に点検を行う。

往復経路

事例
24

山林火災に出動し、現場に向かう道路上の信号のある交差点で、赤信号をサイレンを吹鳴し減速、確認をして進入した際、青信号の方向から来た一般車両と接触しそうになった。

結果

負傷無し

対策

交差点手前で必ず一時停止し、左右の通行車両の停止を確認して交差点に進入、通過する。

一時停止時には拡声装置を活用し、一般車両に消防車両の進行方向を知らせる。

往復経路

事例
25

林野火災に出動し、車庫から消防車両が出発する際、荷台部分に乗っていたため車庫の天井に頭部がぶつかりそうになった。

結果

負傷無し

 対策

荷台等に乗車するタイプの車両（無蓋車等）で出動する場合、車両を一旦車庫から屋外に出して乗車する。
指揮者は団員の乗車を確認してから機関員に発車を指示する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ
操作
法

警戒・広報

往復経路

点検整備・
その他